

京都府緩和ケア実態調査 結果

〔調査概要〕

1 調査対象医療機関

(1) 京都府内の病院 (173施設)

→ **うち、回答 133病院 (回答率 76.9%)**

(2) 在宅療養支援診療所 (328施設)

→ **うち、回答 173診療所 (回答率 52.7%)**

2 調査期間 平成27年11月～12月

3 調査方法

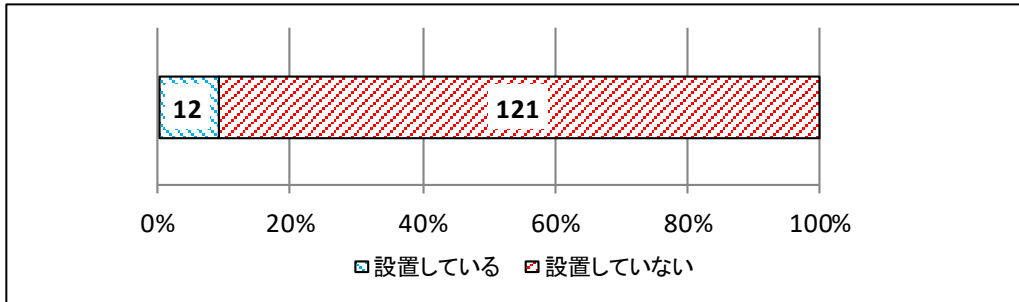
郵送によるアンケート調査

4 調査票 (病院・診療所) 別添のとおり

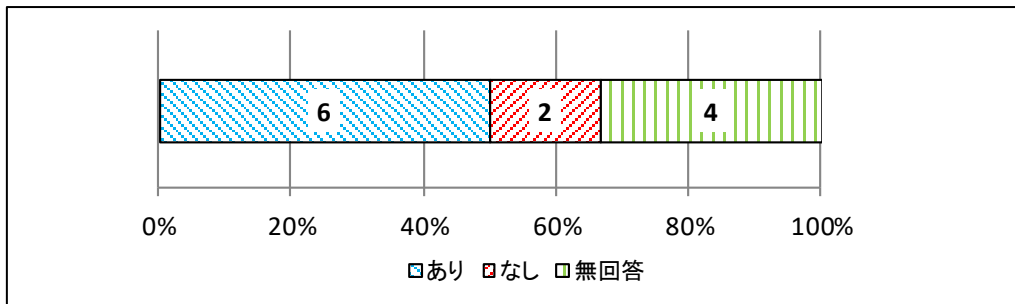
■病院に対する調査結果

A 緩和ケア病棟 緩和ケアチームの設置状況について

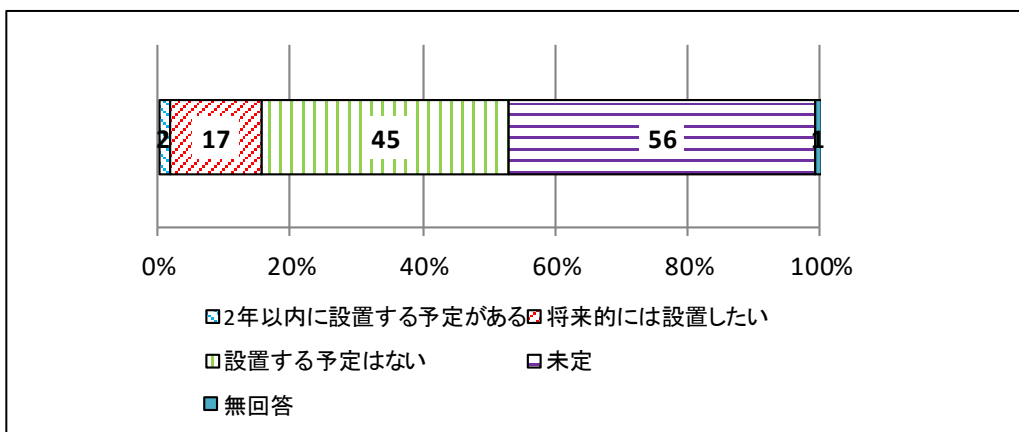
問1 緩和ケア病棟を設置していますか（単位：病院数）



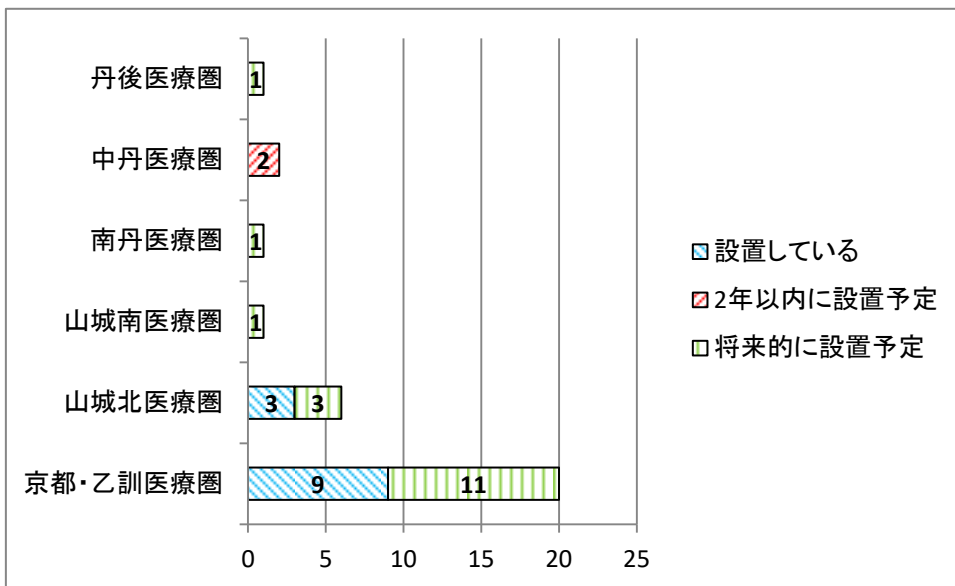
問1-2 診療報酬上の「緩和ケア病棟入院料」の算定はありますか？
（単位：病院数）



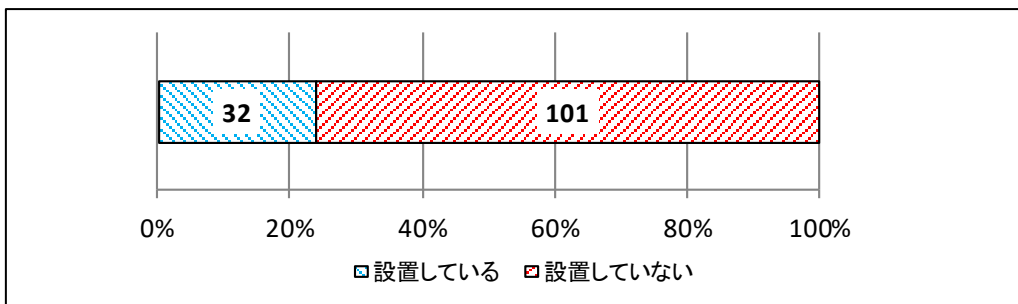
問2 将来的に緩和ケア病棟の設置予定がありますか？（単位：病院数）



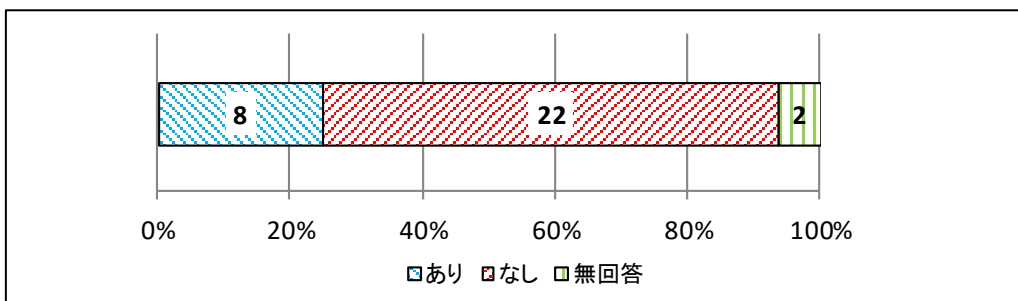
(参考) 緩和ケア病棟設置状況及び設置予定



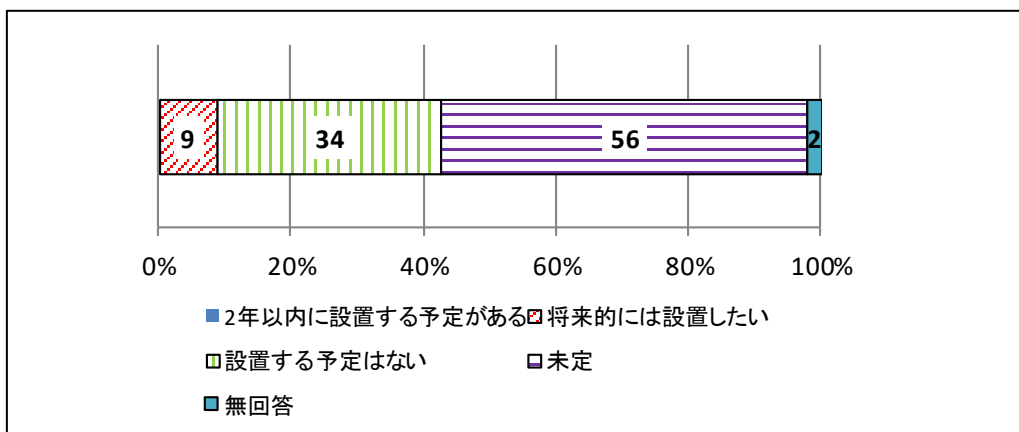
問3 緩和ケアチームを設置していますか (単位: 病院数)



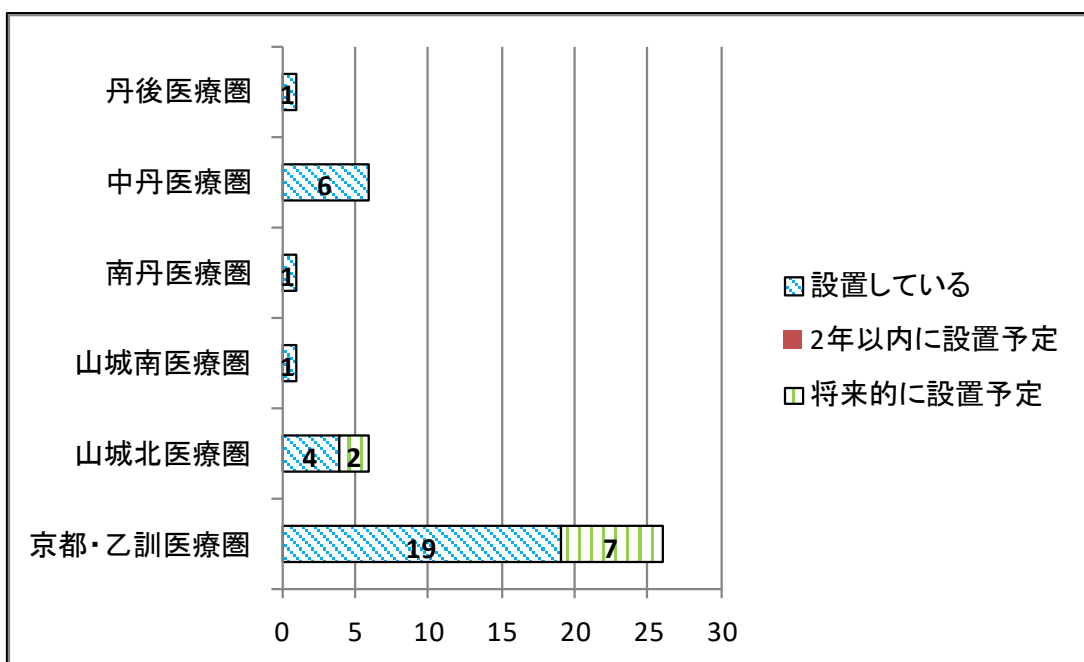
問3-2 設置している場合の診療報酬上の「緩和ケア診療加算」の算定はありますか? (単位: 病院数)



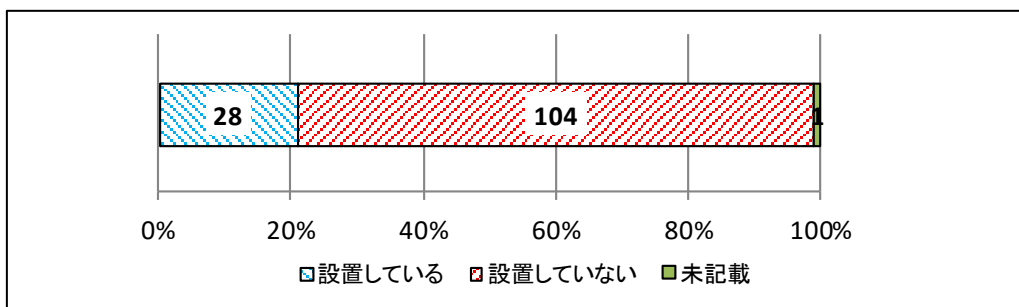
問4 将来的に緩和ケアチームの設置予定がありますか？
 (単位：病院回答数の割合)



(参考) 緩和ケアチーム設置状況及び設置予定 (単位：病院数)



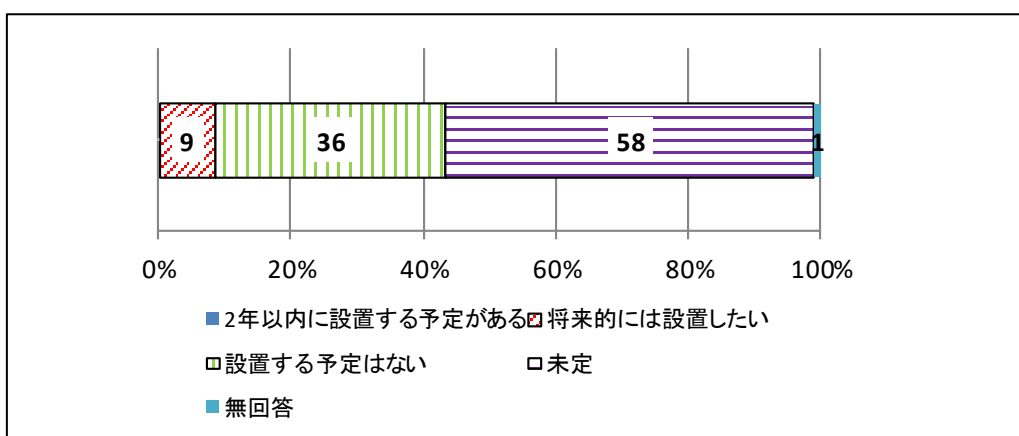
問5 緩和ケア外来を設置していますか。(単位：病院数)



問6 週何日、緩和ケア外来で診察していますか。

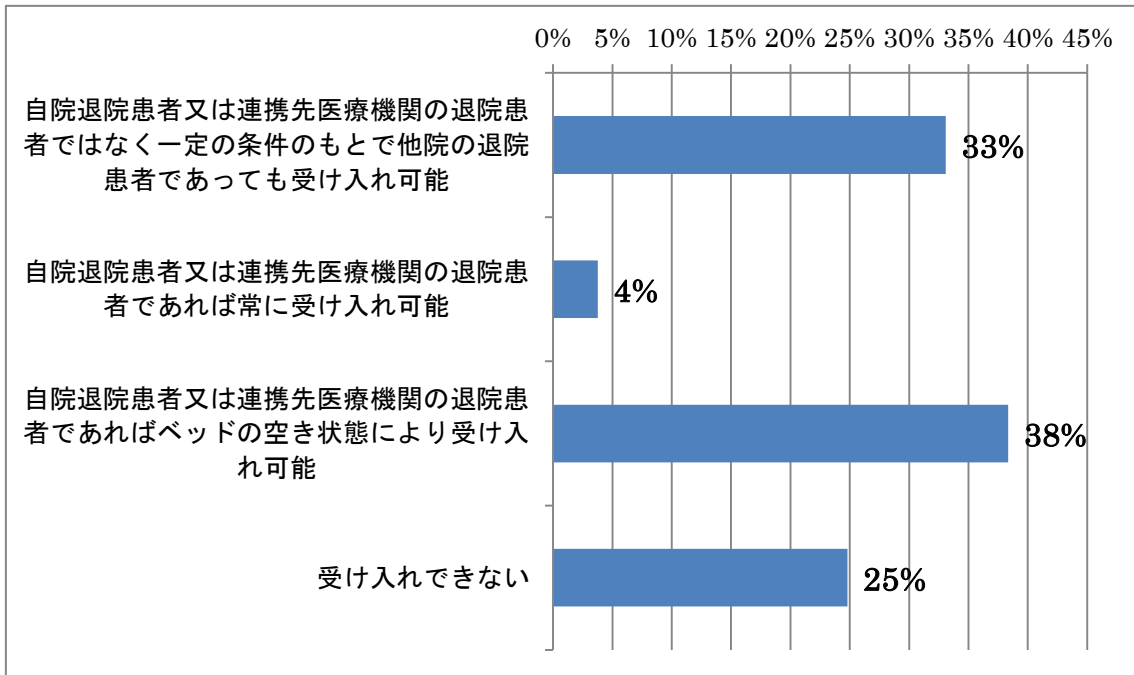
診察日数	病院数	割合
1日	12	43%
2日	4	14%
3日	4	14%
4日	4	14%
5日	3	11%
その他	1	4%
回答者数	28	100%

問7 将来的に緩和ケア外来の設置予定がありますか

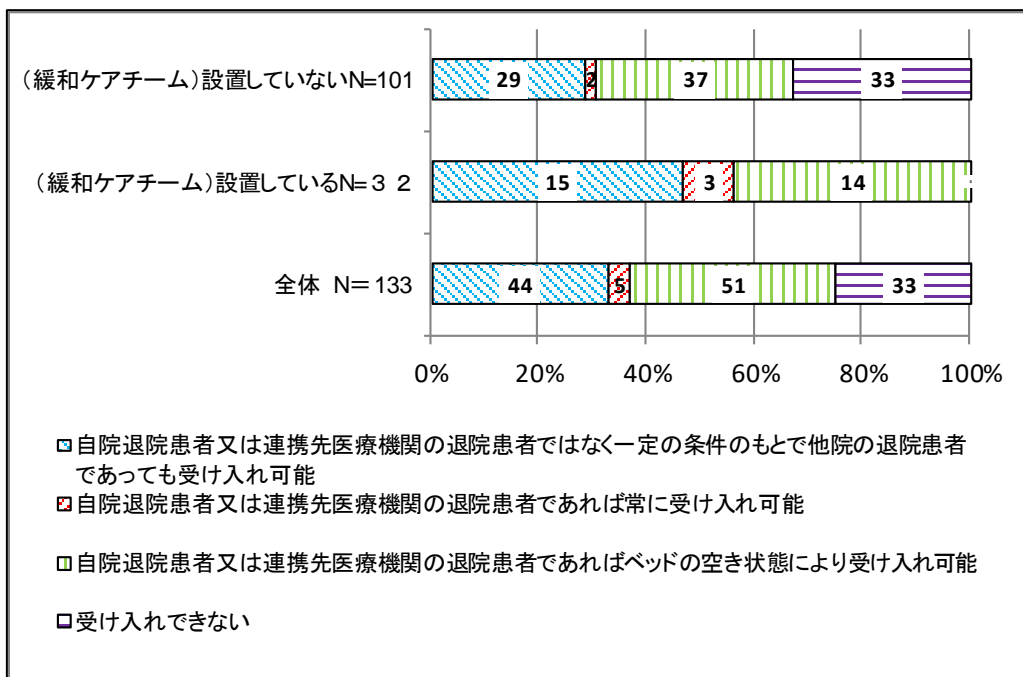


B 在宅療養者に対する支援体制について

問 1 在宅療養患者に病状の急変、症状の増悪が起こった場合の緊急入院の受け入れは可能ですか？（単位：回答数の割合）（回答数：133 施設）

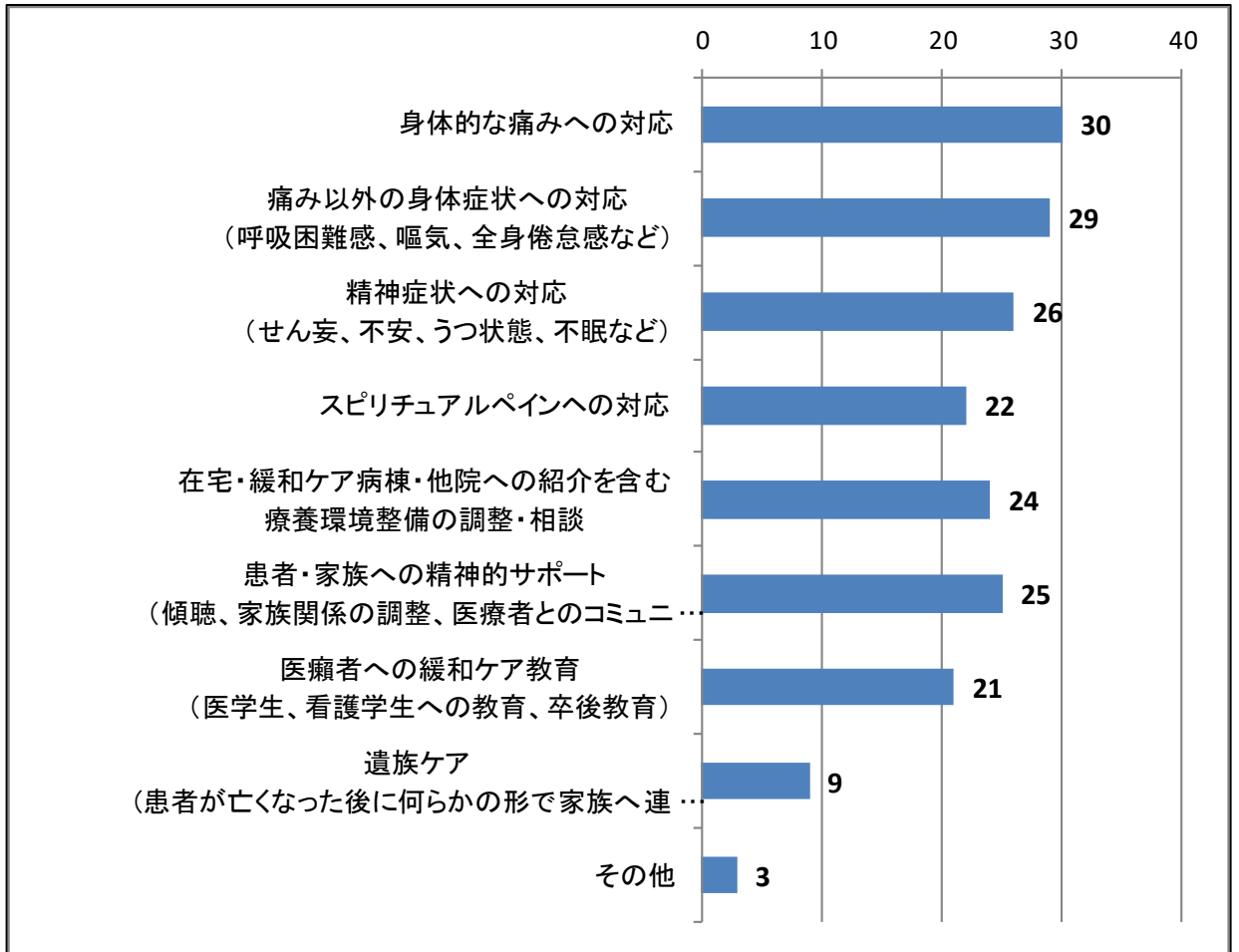


問 2 病院の在宅療養患者の急変時の一時受入れ体制



C 緩和ケアチームの状況について

問1 緩和ケアチームの活動として行っていることについて、該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



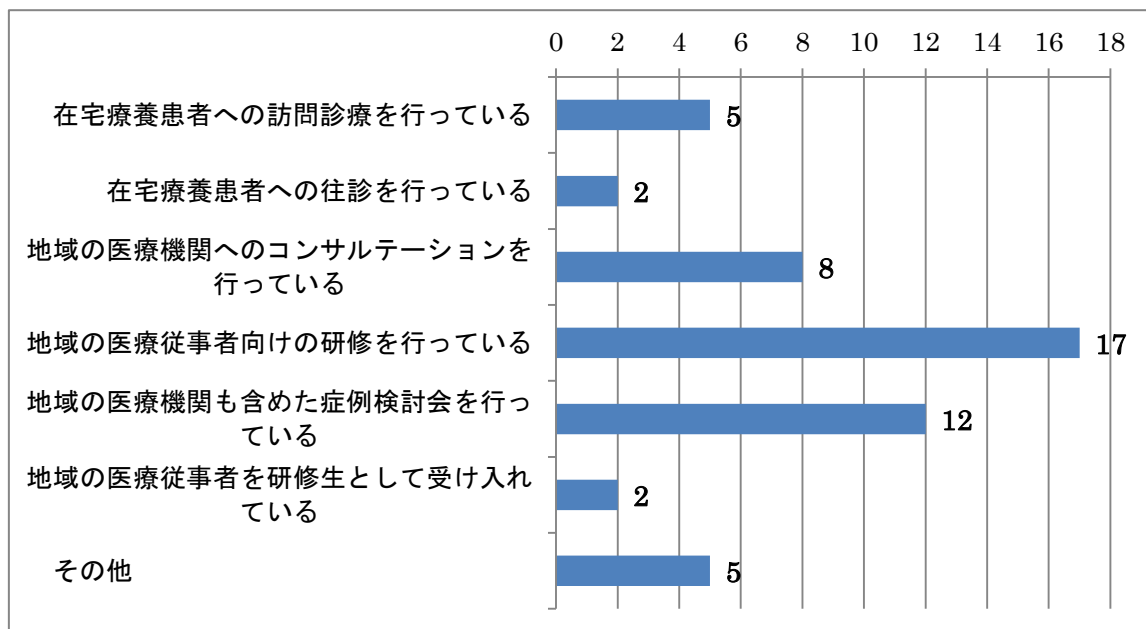
問2 緩和ケアチームの職員構成について（単位：職員配置の平均人数）

※「緩和ケアチームを設置している」と回答のあった32病院の平均

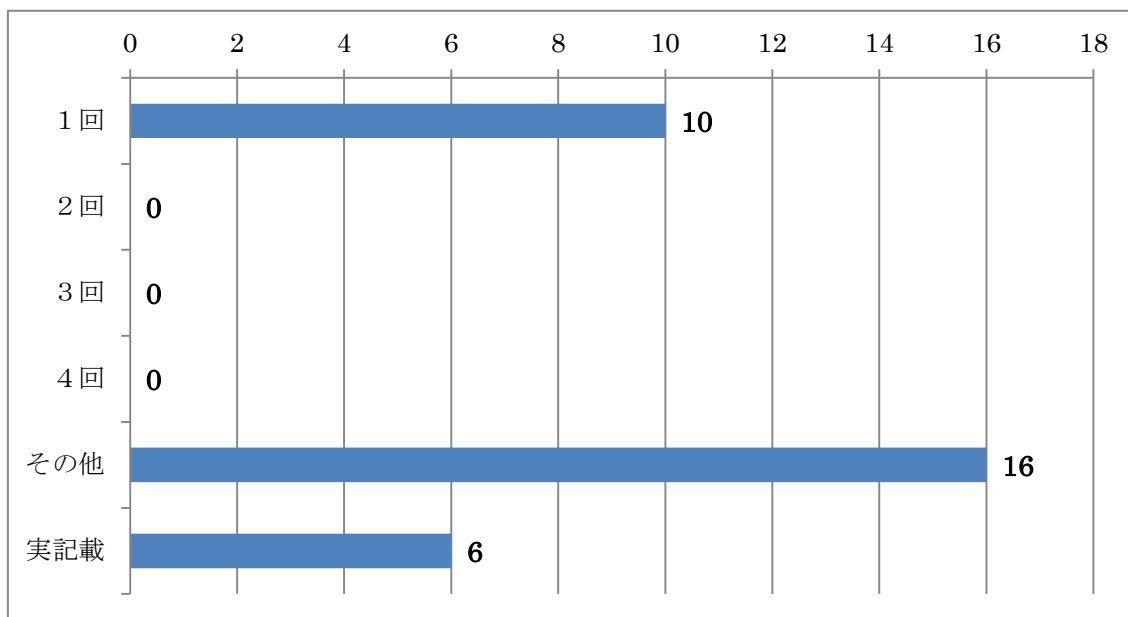
1. 医師 (身体症状 緩和)		2. 医師 (精神症状 緩和)		3. ①がん 看護専門 看護師		②緩和ケア 認定看護師 専門看護師		③がん性疼 痛看護認定 看護師		④がん化学 療法認定看 護師		4. 3以外 の看護師		5. 医療ソ ーシャル ワーカー		6. 臨床 心理士	
常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
3.0	0.4	0.5	0.3	0.4	0.0	0.5	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0	2.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.2

7				8		9. 栄養士		10. 理学療養士		11. 作業療養士		12. 言語療養士	
①がん専門薬剤師		②がん薬物療法認定薬剤師		7以外の薬剤師									
常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
0.2	0.0	0.3	0.0	1.2	0.0	0.7	0.0	0.6	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0

問3 在宅療養患者・地域医療機関の支援体制について（単位：回答数）
（複数回答）



問4 1ヶ月の在宅診療所等とのカンファレンスの回数（単位：施設数）



D 緩和ケア病棟について

問 1 緩和ケア病棟の病床数

回答病院全体での合計病床数	249
平均病床数	21
最大病床数	50
最小病床数	10
回答病院数	12

病床数	病院数	割合
10床未満	0	0.0%
10床以上15床未満	4	33.3%
15床以上20床未満	2	16.7%
20床以上25床未満	3	25.0%
25床以上	3	25.0%
回答病院数	12	100.0%

問 2 緩和ケア病棟の設置時期

設置時期	病院数	割合
2004年以前	2	16.7%
2005年～2009年	0	0.0%
2010年～2014年	7	58.3%
2015年以降	3	25.0%
回答病院数	12	100.0%

問 3 緩和ケア病棟の職員構成について（単位：職員配置の平均人数）

※「緩和ケア病棟を設置している」と回答のあった12病院の平均

医師 (身体症状 緩和)		医師(精神 症状緩和)		①がん看護 専門看護師		②緩和ケア 認定看護師 専門看護師		③がん性疼 痛看護認定 看護師		④がん化 学療法認 定看護師		4. 3以外 の看護師		5. 医療ソー シャルワ ーカー		6. 臨床 心理士	
常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤
2.3	1.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.8	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	15.2	0.5	0.8	0.0	0.2	0.2

問4 平成26年1月1日～12月31日における新規入院患者数、再入院患者数、平均在院日数について

	新規入院患者数	再入院患者数	平均在院日数
A病院	185	9	55.5
B病院	181	22	23.7
C病院	214	10	37.2
D病院	99	4	32.9
E病院	0	0	0
F病院	177	19	17.4
G病院	132	14	30
H病院	0	0	0
I病院	93	30	10.4
J病院	87	4	27.6
K病院	63	3	31.9
L病院	57	0	67

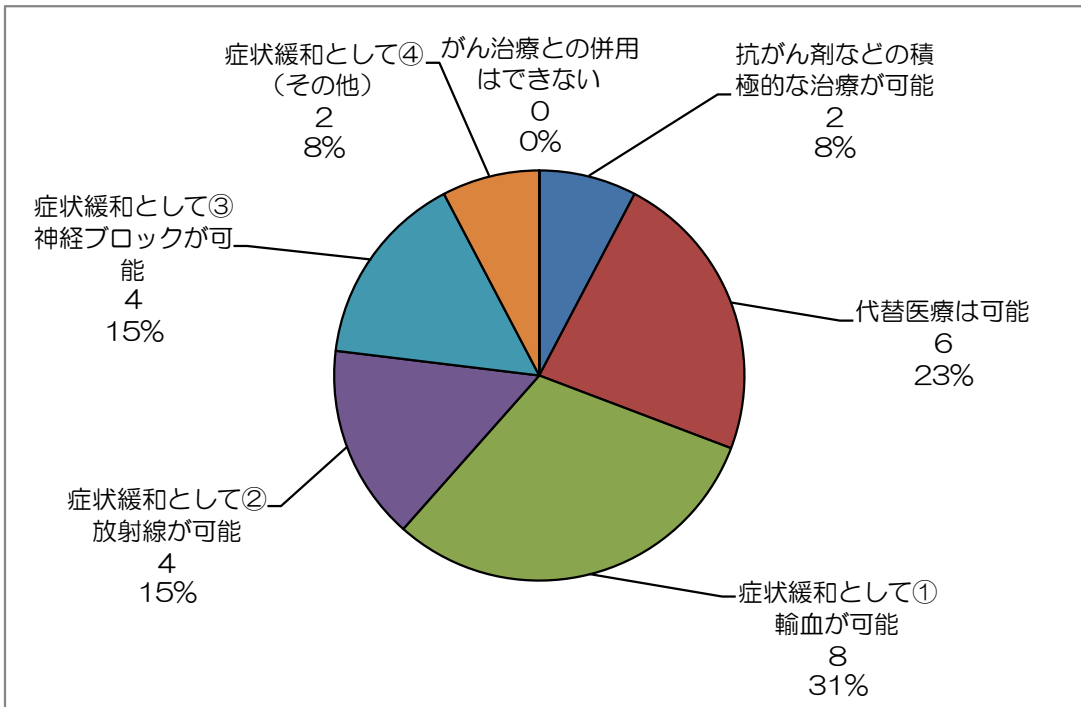
問5 緩和ケア病棟の入院患者の主な紹介元（単位：病院数、割合）

	1位		2位		3位	
1 院内・一般病床から	6	50%	2	18%	1	9%
2 院内・療養病床から	0	0%	0	0%	0	0%
3 他院・一般病床	6	50%	2	18%	4	36%
4 他院・療養病床から	0	0%	0	0%	2	18%
5 自宅又は介護保健師施設等の在宅療養から	0	0%	7	64%	4	36%

問6 入院患者の住所地（単位：患者数）

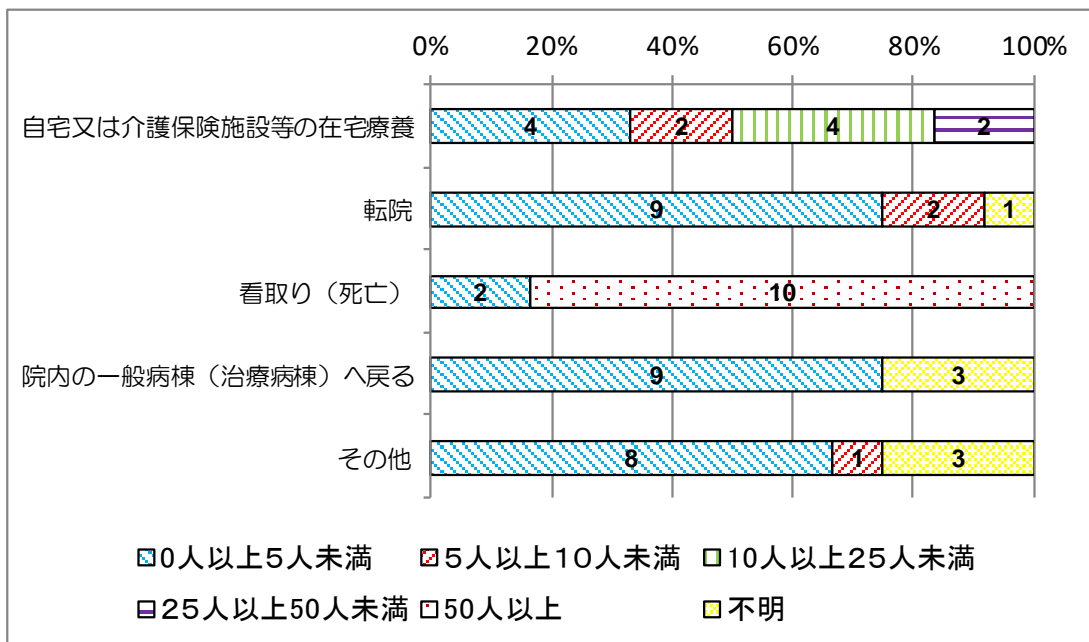
	病院所在地と 同一市町村 内	病院所在地と 同一二次医療圏内	病院所在地と 別の二次医療圏内 (府内)	京都府以 外
A 病院	80	5	5	10
B 病院	98.3	98.3	1.7	0
C 病院	50	40	7	3
D 病院	20	40	30	10
E 病院	80	未記載	未記載	未記載
F 病院	47	57	36	7
G 病院	60	20	20	1
H 病院	80	15	5	0
I 病院	90	10	0	0
J 病院	80	15	5	0
K 院	40	40	20	0
L 病院	59	9	25	7

問7 緩和ケア病棟に入院中、がん治療は可能か



12 病院より複数回答

問8 平成26年1月1日～12月31日における患者の退院事由別の人数



0人以上5人未満
 5人以上10人未満
 10人以上25人未満
 25人以上50人未満
 50人以上
 不明

問9 貴院は疼痛管理を必要とするがん患者の退院後の在宅療養について、他の医療機関等との連携をしていますか。

- 12件のうち12件すべてが連携と回答

問10 連携の際に、実施している取組

(複数回答)

取組	病院数
退院前カンファレンス	11
緩和ケアについての連携・相談窓口の設置	11
地域連携について話し合う会議の開催	6
神経ブロックやIVRの依頼	3
その他	0

■在宅療養支援診療所に対する調査結果

問 1 職員数

表 1 在宅療養支援所の所在地

		施設数	割合 (%)
京都市・乙訓医療圏		115	66.5%
	北区	10	5.8%
	上京区	8	4.6%
	左京区	10	5.8%
	中京区	12	6.9%
	東山区	2	1.2%
	山科区	8	4.6%
	下京区	4	2.3%
	南区	5	2.9%
	右京区	15	8.7%
	伏見区	21	12.1%
	西京区	9	5.2%
	向日市	5	2.9%
	長岡京市	6	3.5%
大山崎町	0	0.0%	
山城北医療圏		22	12.7%
	宇治市	10	5.8%
	城陽市	4	2.3%
	八幡市	4	2.3%
	京田辺市	4	2.3%
	久御山町	0	0.0%
	宇治田原町	0	0.0%
井手町	0	0.0%	
山城南医療圏		9	5.2%
	木津川市	3	1.7%
	精華町	3	1.7%
	和束町	1	0.6%
	笠置町	1	0.6%

	南山城村	1	0.6%
南丹医療圏		3	1.7%
	亀岡市	1	0.6%
	南丹市	2	1.2%
	京丹波町	0	0.0%
中丹医療圏		20	11.6%
	福知山市	9	5.2%
	綾部市	5	2.9%
	舞鶴市	6	3.5%
丹後医療圏		4	2.3%
	宮津市	1	0.6%
	与謝野町	2	1.2%
	京丹後市	1	0.6%
	伊根町	0	0.0%
回答者数		173	100.0%

表2 職員数(職種と人数)

	回答者数	回答者数全体での 合計職員数	平均職員数	最大職員数	最小職員数
医師(常勤)	173	222	1.3	6	1
医師(非常勤)	173	167	1.0	22	0
看護師	173	547	3.2	17	0
事務	173	673	3.9	13	1
その他	173	219	1.3	31	0

表3 医師(常勤)の職員数(1施設あたりの医師の数)

(上端:施設数 下段:割合)

	回答者 数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	無回答
医師(常勤)	173	0	134	30	6	1	0	1	1
	100.0%	0.0%	77.5%	17.3%	3.5%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%

表4 医師(非常勤)・看護師・事務・その他の職員数

(上端:施設数 下段:割合)

	回答者数	0人	1人以上 5人未満	5人以上 10人未満	10人以上 15人未満	15人以上 20人未満	20人以上	無回答
医師(非常勤)	173 100.0%	57 32.9%	43 24.9%	9 5.2%	2 1.2%	0 0.0%	1 0.6%	61 35.3%
看護師	173 100.0%	3 1.7%	129 74.6%	23 13.3%	5 2.9%	2 1.2%	0 0.0%	11 6.4%
事務	173 100.0%	0 0.0%	112 64.7%	49 28.3%	5 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.0%
その他	173 100.0%	37 21.4%	59 34.1%	6 3.5%	2 1.2%	0 0.0%	2 1.2%	67 38.7%

問2 訪問診療の対応地域

N=173

複数回答

地域	対応施設数	
京都市	北区	27
	上京区	27
	左京区	25
	中京区	28
	東山区	16
	山科区	15
	下京区	22
	南区	22
	右京区	32
	西京区	21
	伏見区	28

地域	対応施設数
宇治市	14
宮津市	2
亀岡市	2
城陽市	6
向日市	13
長岡京市	12
八幡市	5
京田辺市	4
京丹後市	2
南丹市	2
木津川市	4
大山崎町	7
久御山町	2
井手町	1
宇治田原町	0
笠置町	1
和束町	2
精華町	3
南山城村	1
京丹波町	1
伊根町	0
与謝野町	3

問3 がんの緩和ケアの実施

表6 緩和ケア実施の有無

	施設数	割合(%)
している	100	57.8%
していない	71	41.0%
無回答	2	1.2%
回答者数	173	100.0%

表7 今後の予定(実施していない場合)

	施設数	割合(%)
あり	23	32.4%
なし	36	50.7%
未定	2	2.8%
無回答	10	14.1%
回答者数	71	100.0%

問4 小児へのがんの緩和ケアの実施

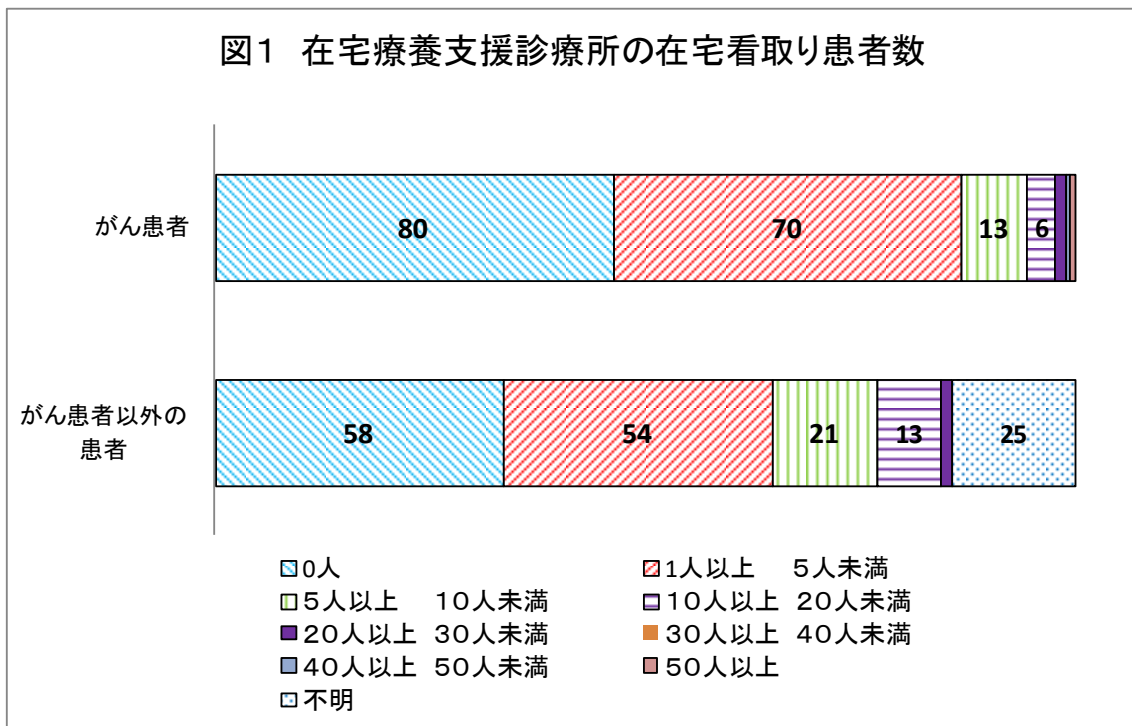
表8 小児への緩和ケア実施の有無

	施設数	割合(%)
している	3	1.7%
していない	170	98.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	173	100.0%

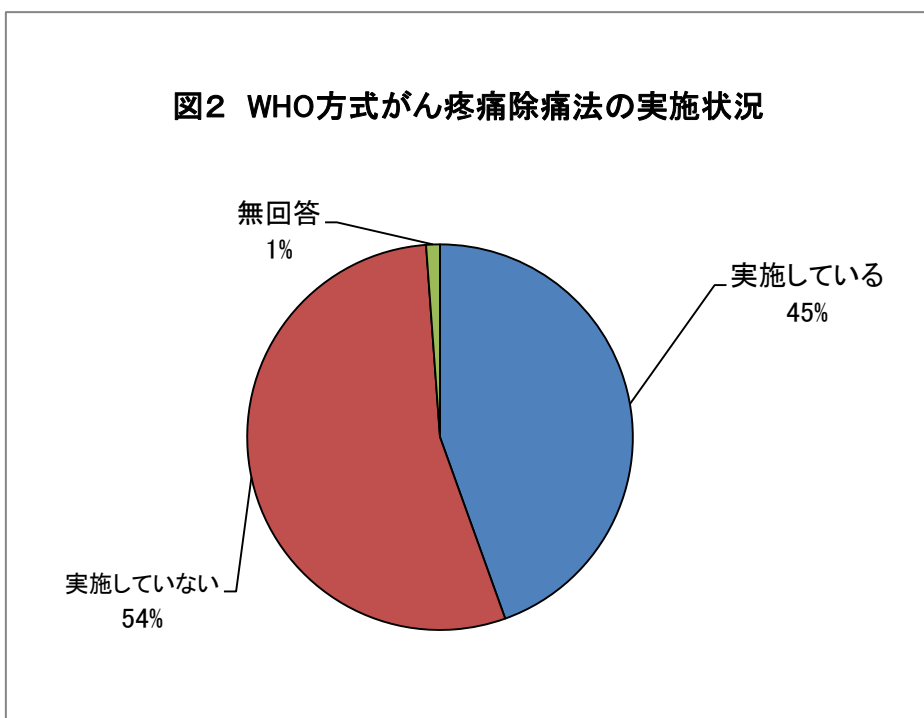
表9 今後の予定(実施していない場合)

	施設数	割合(%)
あり	12	7.1%
なし	112	65.9%
未定	0	0.0%
無回答	46	27.1%
回答者数	170	100.0%

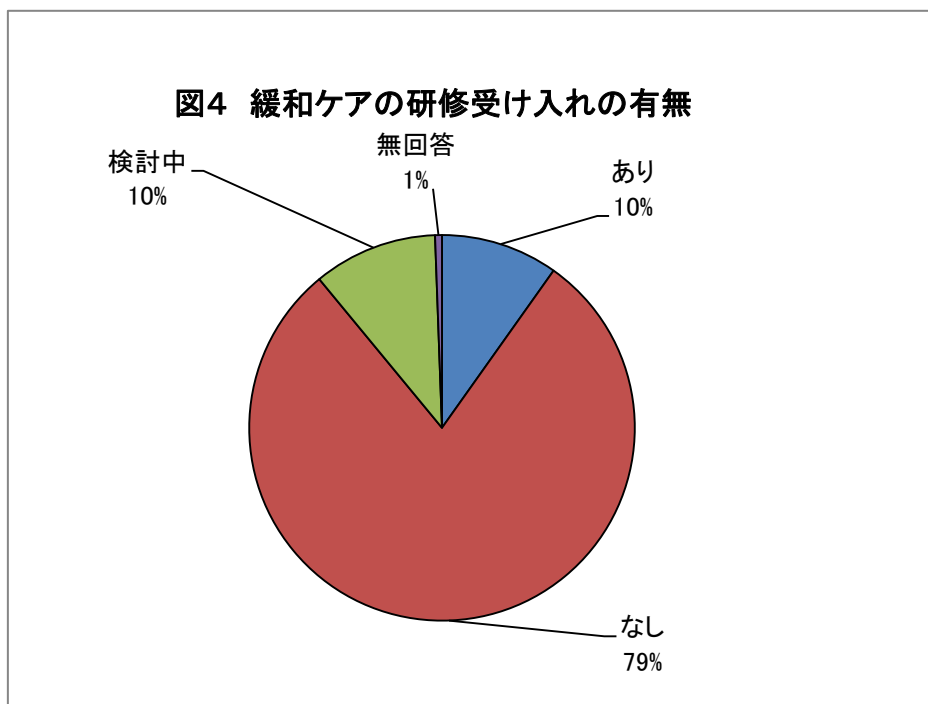
問5 在宅療養支援診療所の在宅看取り患者数



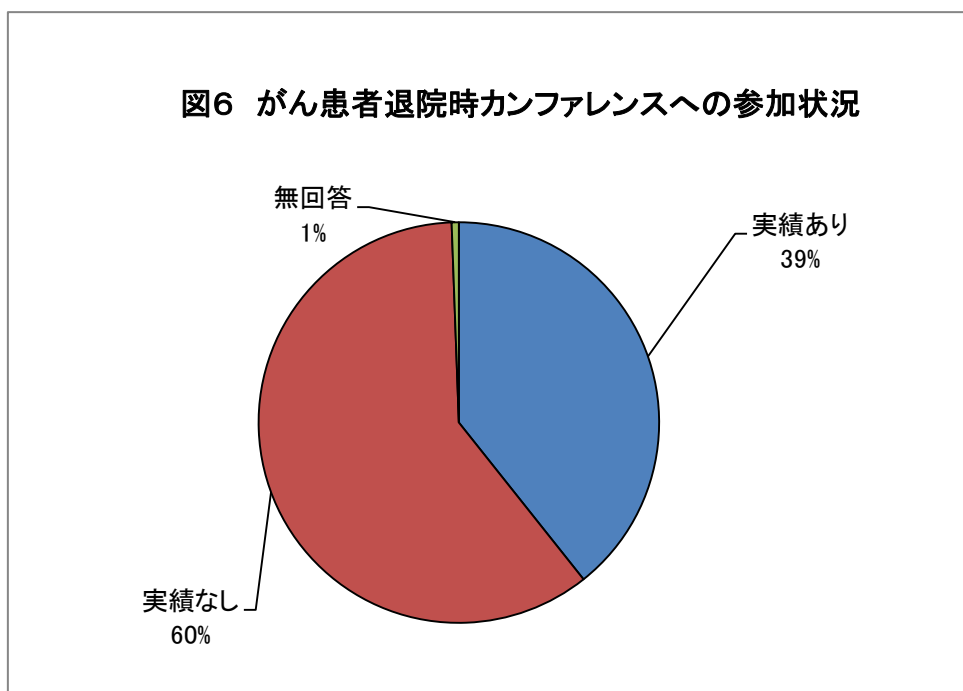
問6 疼痛緩和療法（WHO方式3段階がん疼痛除痛法）の実施状況



問7 緩和ケアの研修受け入れの有無



問8 がん患者退院時カンファレンスへの参加状況



問9 在宅での緩和ケアを困難にしている要因（複数回答）

在宅緩和ケアを困難にしている要因	回答数	割合
24時間体制の維持	115	36%
症状増悪などの急変時対応のための病院のバックアップ体制不足	65	21%
レスパイト入院が可能な病院の不足	50	16%
疼痛管理の困難	52	16%
その他	34	11%

問 10 別紙提供しているがんの在宅医療

	内 容	回答数	割合
疼痛緩和	NSAIDsやアセトアミノフェンによる疼痛緩和	128	5.3%
	トラマドールなど医療用麻薬でないオピオイド鎮痛薬による疼痛緩和	111	4.6%
	経口・坐薬・貼付によるモルヒネなどの投与・維持・管理	106	4.4%
	持続皮下注射によるモルヒネなど医療用麻薬の投与・維持・管理	38	1.6%
	持続点滴によるモルヒネなどの医療用麻薬の投与・維持・管理	27	1.1%
	在宅中心静脈(IVH)を使用したモルヒネなどの医療用麻薬の投与・維持・管理	31	1.3%
	硬膜外カテーテルによる疼痛管理	15	0.6%
	クモ膜下カテーテルによる疼痛管理	6	0.2%
	モルヒネなどの医療用麻薬や他のオピオイド鎮痛薬による副作用の管理(嘔吐)	87	3.6%
	モルヒネなどの医療用麻薬や他のオピオイド鎮痛薬による副作用の管理(便秘)	90	3.7%
その他身体症状	がん患者の呼吸困難感緩和	82	3.4%
	がん患者の倦怠感緩和	95	3.9%
	がん治療(抗がん剤など)の副作用治療	70	2.9%
精神心理的項目	がん患者への精神面のサポート	100	4.1%
	家族の精神的サポート	98	4.0%
	がん患者への抑うつへの対応	89	3.7%
	がん患者のせん妄への対応	72	3.0%
治療内容	経管栄養の管理	94	3.9%
	経管栄養チューブの挿入	61	2.5%
	胃ろうの管理	96	4.0%
	在宅中心静脈(IVH)の管理	78	3.2%
	化学療法(点滴)	15	0.6%
	経口抗がん剤の処方と管理	65	2.7%
	腎ろうの管理	44	1.8%
	バルーンカテーテルの管理	109	4.5%
	イレウス管の管理	28	1.2%
	経皮経肝胆管ドレナージ(PTCD)の管理	39	1.6%
	掃射の治療・ケア	109	4.5%
	病的骨折の保存的治療のケア	49	2.0%
	骨転移治療薬剤の投与(ビスホスホネート注射剤等)の投与	57	2.3%
	リンパ浮腫のケア・治療	49	2.0%
	在宅酸素療法(HOT)の管理	120	4.9%
	夜間緊急時の対応	113	4.7%
	口腔のケア	55	2.3%

N=173

100.0%

問 11 在宅緩和ケア推進に必要なと思うこと

在宅で看取った がん患者数	分類	回答数
0人 80診療所	研修会の開催によるスキルアップ	32
	グループ診療体制等、他の医療機関との連携	54
	緩和ケアを専門とする医師等との連携	46
	その他	7
1人以上5人未満 70診療所	研修会の開催によるスキルアップ	36
	グループ診療体制等、他の医療機関との連携	42
	緩和ケアを専門とする医師等との連携	36
	その他	8
5人以上10人未満 13診療所	研修会の開催によるスキルアップ	6
	グループ診療体制等、他の医療機関との連携	10
	緩和ケアを専門とする医師等との連携	8
	その他	1
10人以上 10診療所	研修会の開催によるスキルアップ	6
	グループ診療体制等、他の医療機関との連携	5
	緩和ケアを専門とする医師等との連携	7
	その他	3
計	研修会の開催によるスキルアップ	80
	グループ診療体制等、他の医療機関との連携	111
	緩和ケアを専門とする医師等との連携	97
	その他	19